

中国財務局と外部機関の若手・中堅職員によるネットワーク形成の取組

当局と外部機関(金融機関、国出先機関)の若手・中堅職員を対象に、地域活性化に取り組むキーパーソンによる講話、地域課題の解決策に関するグループワークを行い、次世代を担う若手・中堅職員のネットワーク形成を図った。

概要

【開催経緯】

中国財務局の固有業務では接する機会の少ない、同世代の外部機関(参加機関:広島銀行、日本政策金融公庫、中国経済産業局、中国運輸局)職員とのネットワークの形成を目的として、平成29年11月に開催。

【キーパーソンによる講話】

「温泉総選挙2017」において2年連続で表彰を受けるなど先駆的な温泉街再生に取り組む、(株)玉造温泉まちデコ角社長による講話では、地域を元気にしたいとの思いから会社を創設した経緯や、女性客をターゲットとした温泉水コスメの開発・販売を通じた温泉街PRなど地域活性化の取組を紹介。

【(株)玉造温泉まちデコ角社長】



【地域課題の解決策に関するグループワーク】

4つの課題(移住・定住、創業、農業、観光)を設定し、関係機関の連携による解決策を討論。

取組の成果と今後の展開

・角社長の「地域のために」という思いに触れ、中国財務局として地域のために何ができるのかを再考する良い機会となった。

【各機関が連携して解決策を討論】

・グループワークでは、観光について、当局職員が金融機関を介した専門人材の派遣を提案し、中国運輸局職員が情報発信に関する補助制度を情報提供するなど、関係機関との連携により有用な解決策となることを実感。



・中国経済産業局の参加職員から、地方創生のキーパーソンを育成する研修への招待を受け、地方公共団体等との連携強化へと発展。

【各機関若手・中堅職員のネットワークを形成】

・次回は、連携による課題解決のノウハウ共有・向上のため、外部機関との連携に取り組む地方公共団体の職員を招くなどして内容の充実を図る。

